



JPN Class

Online school - 日本語で学ぼう

国語の学習

小学校

六年生

七月 第②週

〈森〉





みなさんにお知らせ

1. 質問があったら、メールをください。すぐお返事します。
 2. 自分が書いた文章を見てもらいたいときはメールで送って
くれば、直して送り返します。
- ❖ メールアドレスは、 Akiko@JPNCClass.com です。
 - ❖ 授業で使ったスライドはWebページ <http://JPNCClass.com> から
印刷やダウンロードができます。



お家の方へ

1. 授業で使う文章を印刷する際、お子さんのお手伝いをお願いいたします。
 2. ノートは特に規定はありませんが、漢字学習用と国語のノートの2冊を用意してあげてください。
 3. 質問や作文などの添削はメールで随時受け付けています。積極的に送るように、声掛けをお願いいたします。
- ❖ メールアドレスは、 Akiko@JPNCClass.com です。
 - ❖ 授業で使ったスライドはWebページ <http://JPNCClass.com> から印刷やダウンロードができます。

① 授業で使う文章を印刷してください。



印刷の仕方

1. Webページ <http://JPNCClass.com> へ行きましょう。
2. YouTube授業をクリックしましょう。



JPNClassは、海外に暮らす子どもたちとご家族をサポートする目的で開設されました。子どもたちにオンラインでの国語などの授業を提供します。また、ご家族と海外での日本語教育や子育てについて共に考える講演会やセミナーを開催します。

授業は、オンライン授業（Zoom）、ビデオ（Youtube）を通して提供します。現在お住まいの地域に日本語補習校など日本語を学ぶ学校がない、行く時間がない、あるいは自分のペースで日本語の勉強を進めたいといった子どもたちに最適です。

詳しくは、オンライン授業、YouTube授業、講演会・セミナーのページをご覧ください。



印刷の仕方

3. 小学6年の教科書をクリックしましょう。



トップ [YouTube 授業](#) ▾ オンライン授業 講演会・セミナー 講師プロフィール お知らせ
ご意見・連絡先

日本語で学ぼう！ 小学生、中学生向けオンライン授業

YouTube 授業

小学4年 国語

[YouTube チャンネル](#)

[YouTube ビデオ&スライド](#)



小学5年 国語

[YouTube チャンネル](#)

[YouTube ビデオ&スライド](#)



小学6年 国語

[YouTube チャンネル](#)

[YouTube ビデオ&スライド](#)



中学1年 国語

[YouTube チャンネル](#)

[YouTube ビデオ&スライド](#)



印刷の仕方

4. 小6国語 7月第2週 <スライド (PDF)>をクリックしましょう。

JPN Class
Online school - 日本語で学ぶ

トップ YouTube 授業 オンライン授業 講演会・セミナー 講師プロフィール お問い合わせ

日本語を学ぼう！ 小学生、中学生向けオンライン授業

小学6年国語

YouTube チャンネル小6国語 (チャンネル登録をしよう)

YouTube ビデオ&スライドライブラリー

7月

小6国語	7月第1週	<YouTube ビデオ>	<スライド (PDF)>
小6国語	7月第2週	<YouTube ビデオ>	<スライド (PDF)>
小6国語	7月第3週	<YouTube ビデオ>	<スライド (PDF)>



朝の海は、深いきりに包まれ、静まりかえっていました。聞こえるのは、カヤックのオールが、水を切る音だけです。少し、風が出てきました。白い太陽が、ぼうつと現れては、消えてゆきます。ゆっくりと、きりが動いているのです。オールを止めると、カヤックは、鏡のような水面をしばらくすべり、ミルク色の世界の中で、やがて動かなくなりました。きりの切れ間から、辺りを取り巻く山や森が、ぼんやり見えています。たくさんの島々の間を通り、いつの間にか深い入り江のおくまで来ていたのです。ここは、南アラスカからカナダにかけて広がる、原生林の世界です。

森へ

星野 道夫 文・写真



1

5. がついているページを印刷しましょう。



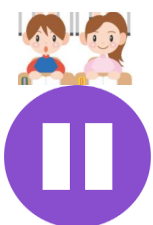
②必ず用意してください

- ・国語のノートと漢字ノート
- ・筆記用具（赤ペン、赤えんぴつも必要）

③気をつけること

- ・大事だと思うところはノートに書いてください。

- ・「ビデオを止めてください。」と言われたら、ビデオを止めて、先生の指示にしたがってください。



- ・必要があるときは、ビデオを止めて、もう一度ビデオを見たりしてください。

先週の宿題

1. 漢字

新しい漢字の練習をしましょう。

2. 音読

「森へ」を読みましょう。

3. 言葉の学習

次の文の（ ）に合う言葉を、
から選び
ましょう。

- (1) 朝つゆに、木の葉が（エ）ぬれている。
- (2) 今週は、予定が（ア）つまっている。
- (3) 熱が下がって、もう（イ）元気だ。
- (4) 雲がかかって、月が（オ）見える。
- (5) 悲しみがこみ上げたが、（ウ）なみだをこらえた。

ア	びっしり	イ	すっかり	ウ	ぐっと
エ	しっとり	オ	ぼんやり		

漢字テスト①

読み方をノートに書きましょう。

姿

潮

砂
はま

樹
林

垂れ
下がる

胸

穴

骨

厳しい



漢字テスト①

読み方をノートに書きましょう。

答え合わせをしましょう。

姿

すがた

潮

しお

砂はま

すなはま

樹林

じゅりん

垂れ下がる

たれさがる

胸

むね

穴

あな

骨

ほね

厳しい

きびしい



漢字テスト②

漢字をノートに書きましょう。

すがた

しお

すなはま

じゅりん

たれさがる

おね

あな

ほね

きびしい



漢字テスト②

漢字をノートに書きましょう。

答え合わせをしましょう。

すがた

姿

しお

潮

すなはま

砂はま

じゅりん

樹林

たれさがる

垂れ下がる

おね

胸

あな

穴

ほね

骨

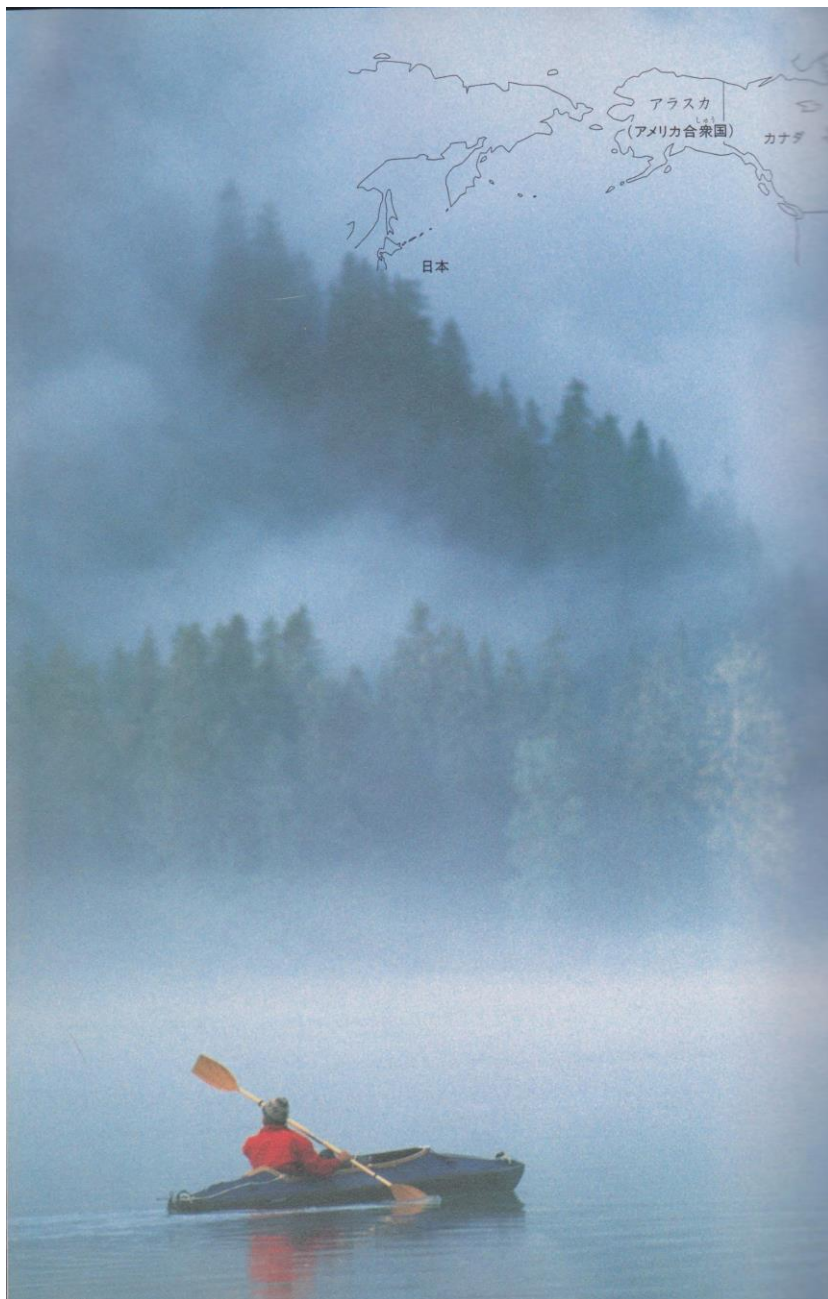
きびしい

厳しい





①朝の海は、深いきりに包まれ、静まりかえってしまいました。聞こえるのは、カヤックのオールが、水を切る音だけです。少し、風が出てきました。白い太陽が、ぼうつと現れては、消えてゆきます。ゆつくりと、きりが動いているのです。オールを止めると、カヤックは、鏡のような水面をしぼらくすべり、ミルク色の世界の中で、やがて動かなくなりました。きりの切れ間から、辺りを取り巻く山や森が、ぼんやり見えています。たくさんの島々の間を通り、いつの間にか深い入り江のおくまで来ていたのです。ここは、南アラスカからカナダにかけて広がる、原生林の世界です。

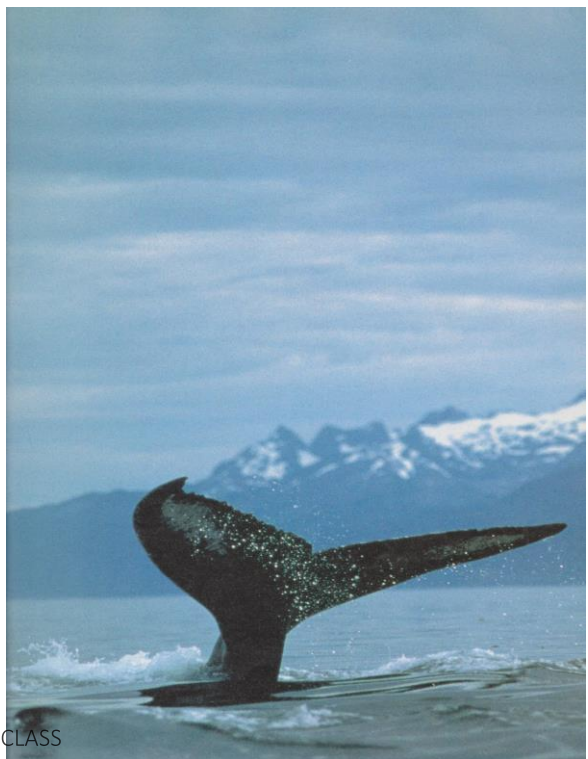


カヤック…五、六メートルの小ぶね。元は、木や動物の骨で組み立て、アザラシの皮をぬい付けたものであったが、今は化学素材で作られる。原生林…人が手を加えていない、自然なままの林。

じっとしていると、カヤックをこいでいるとき気づかなかった音が、少しずつ聞こえてきました。ピロロロロ……。ハクトウワシの、小鳥のようなさえずりです。が、辺りの森を見わたしても、姿が見えませんが、ポチャン——と、一ぴきのサケが、海面から三十センチほど飛び上がりました。谷間から、川の音かたきの音か、かすかな水の音がわたってきます。きりは、絶えず形を変えながら、森の木々の間を、生き物のように伝わってきます。水面を流れるきりは、ぼくの顔や体を、しつとりとぬらしました。そのときです、不思議な声がかきりの中から聞こえてきたのは。シューツ、シューツ、シューツ……。ぼくは体をかたくして、だんだん近づいてくるその音を待ちました。とつぜん、きりの中からすうつと巨大な黒いかげが現れ、目の前を潮をふきながら通り過ぎていったのです。ザトウクジラ……。広い海原うなばらにいるはずのクジラが、どうしてこんな所にいるのだろうか。やがて、クジラは尾おびれを高く上げ、ゆっくりときりの中に消えてゆきました。

再び、カヤックをこぎ始めました。深い森の木々がおし寄せるはまべが、しだいに近づいてきました。

バサツ、バサツ……。ふいに、ハクトウワシが森の中からまい上がり、頭上を飛び去ってゆきました。ぼくがこの森に近づいてくるのを、ハクトウワシはじっと見ていたのです。



ハクトウワシ…頭と尾が白い、大形のワシ。全長九十センチメートル、体重は六キログラムほど。北アメリカの水辺にすみ、サケなどの大きな魚をつかまえて食べる。

ザトウクジラ…全長十五メートルほど。背中が黒く、腹が白い。

《新しい漢字》

すがた
しお
姿
潮





②やがて、カヤックが砂はまに乗り上げると、森は、おおいかぶさるようにせまっていました。見上げるような巨木や、その間にびっしりとおいしげる樹木が、ぼくがこの森に入ることをごぼんでいるようにでした。

はまべに沿ってしばらく歩くと、だれかが通ったように草のしげみが割れ、そのまま森の中に続いているのに気がつきました。いったいだれが来たのだろう。ここは、人の住む場所と遠くはなれた世界です。

巨木の間をぬけ、森に足をふみ入ると、辺りは、夕暮れのように暗くなりました。目が慣れてくると、森の姿が見え始めました。見わたすかぎりの木々が、いや、地面も岩も倒木も、びっしりと緑のコケにおおわれているのです。さまざまな地衣類が、枝から着物のように垂れ下がった木々は、そのまま歩きだしそうな気配でした。

ぼくが立っている地面は、かすかな道になり、森のおくへと続いています。土の上に残された大きな足あとを見るとき、急に胸がどきどきしてきました。そう、クマの道だったのです。森の中から、今にもクマがやって来そうな気がしました。

周りを見回しながら、しばらく考えました。

気持ちが悪く、少し勇気が出てきました。ぼくはクマの道をたどり、森に入ってくることに決めました。

③この森は、はるかな北に広がる氷河まで続いています。ずっと昔、ここは、厚い氷におおわれていました。最後の氷河期が終わり、地表が現れ、気の遠くなるような時間をかけて、森ができあがったのです。木々やコケ、そして岩や倒木までが、たがいからみながら助け合い、森全体が、一つの生き物のように呼吸しているようでした。

地衣類・木の幹や岩の表面にうすく広がって付く植物。



《新しい漢字》

砂はま すな

樹林 ジュ

垂れ下がる た

胸 むね

森の木々が、じつとぼくを見つめているような気がしました。ときどき、気味の悪い大木を見かけました。まるで、足で立っているように根が生え、その間に大きな穴が空いているのです。あれは、いったい何なのだろう。

辺りをゆっくり見わたし、小さな音にも耳をそばだてて歩いていると、だんだん不思議な気持ちになってきました。いつの間にか、まるで、自分がクマの目になって、この森をながめているみたいなのです。心が静まるにつれて、森は、少しずつぼくにやさしくなってくるようでした。

「もしクマが反対からやって来たら、そつと道をゆずってやればいいのだ。」そんなことを考え始めていました。10

ふと気がつくと、道の真ん中に、大きな黒いかたまりが落ちていました。なんだろうと思って近づくと、それはクマの古いふんでした。

おどろいたことに、そのふんの中から、15
白いキノコがたくさんびています。あんまりきれいなので、ぼくは地面に体をふせ、クマのふんにぐつと顔を近づけてみました。いつか北極圏（けん）のツンドラで見た、古い動物の骨の周りにさく花々を思い出しました。20
厳しい自然では、わずかな栄養分もむだにはならないのです。



ツンドラ…北極海沿岸に広がる土地。寒さのために、一年じゅう地面がこおっている。

《新しい漢字》

穴 あな

骨 ほね

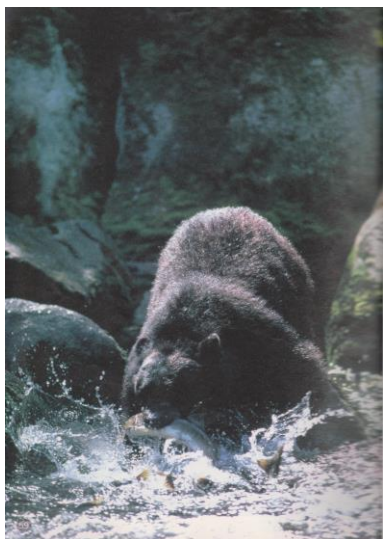
厳しい きびしい



クマの道は、しだいに分かれ道が多くなり、いつの間にか、森の中に消えていくようでした。ときどき、高いやぶをかき分けて進まなくてはなりません。そんなとき、倒木は、森にかかる橋のように歩きやすい道となりました。倒木の道には、ところどころに、アカリスがトウヒの実を食べたからが積まれています。動物たちも、この自然の道を利用して歩いているのです。今度は、森のリスになったような気分です。倒木の上を歩きました。

④ 水の音が聞こえてきました。しばらくすると、視界が開け、森の中を流れる川に出ました。岸に立つと、水の流れるは、川底の岩の色なのか、黒くしずんで見えませんでした。

水を飲もうと水面に顔を近づけ、びっくりしてしまいました。川底の色だと思っただのは、産卵のために川を上るサケの大群だったのです。ぼくは、はだしになって川に入りました。静かに手を水の中に入れ、や



っと一ぴきのサケをつかむと、ああ、なんと強い力をもっているのでしょうか。ばねのように身を大きく曲げながら、はじけるように、ぼくの手から飛びぬけてゆくのです。もうおもしろくてたまりません。ぼくは、ずぶぬれになりながら、何度も同じことをくり返しました。

ふっと前を見ると、対岸の岩の上から、クロクマの親子が、じっとぼくを見ているではないですか。ぼくは、あわてて岸を駆け上がりました。すると、なんてことでしょう。川の上流にも下流にも、いつの間にか、クマがあちこちに



いるのです。いま、この森の川は、サケを食べるが木の上でねています。どうして今まで気がつかなかったのだろう。アカリス・カナダやアメリカの林にすむ。キチキチと鳴き、木の実やキノコを好む。

トウヒ・山に生える松の一種。幹は赤褐色で、ひび割れている。

クロクマ・ここでは、アメリカグマのこと。かたまでの高さ一メートル。体重百三十キログラムほど。



すでに一生を終えたサケが、たくさん流れていきます。

「サケが森を作る。」

アラスカの森に生きる人たちの古いことわざです。産卵を終えて死んだ無数のサケが、上流から下流へと流されながら、森の自然に栄養をあたえてゆくからなのです。

⑤ ぼくは、川をそつとはなれ、再び森の中に入ってゆきました。

不思議な光景に出会いました。地面に横たわる古い倒木の上から、巨木が一列に並んでのびているのです。それは、きつとこんな物語があつたのでしょうか。

昔、一本のトウヒの木が年老いてたおれました。その木は死んでしまいました。その根の間に、その幹の上に落ちた幸運なトウヒの種子たちがいました。そこに根を下ろした種子たちは、倒木の栄養をもらいながら、さらに気の遠くなるような時間の中で、ゆつくりと大木に生長していったのです。つまり、年老いて死んでしまった、倒木が新しい木々を育てたのです。それでやっと分かりました。森の中でときどき見かけた、根が足のように生えた不思議な姿の木のことです。その根の間に空いていた穴、それは、栄養をあたえつくして消えた倒木のあとだったのでした。

目の前の倒木は、たくさんの大木の根にからまれ、今なお栄養をあたえ続けています。いつかはすつかり消えてゆくのです。ぼくはこけむした倒木にすわり、そつと幹をなでてみました。

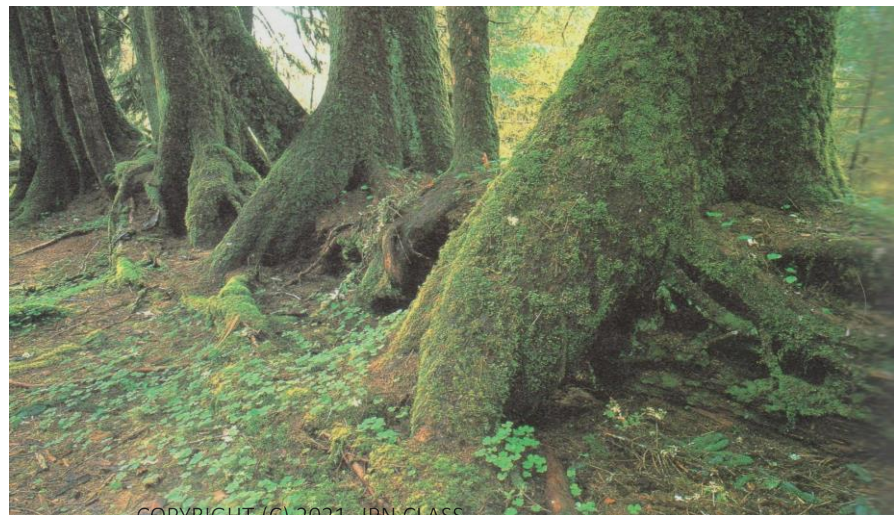
森のこわさは、すつかり消えています。じつと見つめ、耳をすませば、森はさまざまな物語を聞かせてくれるようにしました。ぼくの目には見えないけれど、森はゆつくりと動いているのでした。

星野道夫

一九五二〜一九九六。千葉県生まれ。

写真家。

「グリズリー」「アラスカたんけん記」などの作品がある。



場面ごとに区切って、詳しく読み取りましょう。

カヤックに乗っている場面 1枚目2行目～2枚目22行目

筆者がカヤックに乗って、原生林に近づいていく場面です。

(1) 次の（ ）に合う言葉を入れて、筆者が今いる場所の様子を答えましょう。

朝の海は、（ ）に包まれ、静まりかえっている。聞こえるのは、（ ）のオールが、水を切る音だけ。少し（ ）が出てきて、きりがゆっくりと動いている。きりの切れ間から、辺りを取り巻く山や（ ）が、ぼんやり見えてくる。

(2) カヤックの上でじっとしていると、いろいろな音が聞こえてきます。次の音は、なんの音ですか。合うものを下からえらびましょう。

- ① ピロロロロ
- ② ポチャン
- ③ シューツ、シューツ、シューツ

ア サケが飛び上がる音。
イ ザトウクジラが潮を
ふく音。
ウ ハクトウワシのさえ
ずり。

森の中へ入ろうとする場面 3枚目1行目～3枚目22行目

森の近くで、だれかが通ったような道を見つけるよ。

(3) 3枚目3行目「ぼくがこの森に入ることをごぼんでいるようでした。」とありますが、何が、筆者をこぼんでいるように見えるのですか。二つ書きましょう。

() ()
() ()



(4) 3枚目6行目「いったいだれが来たのだろう。」と筆者が思ったのはなぜですか。

ア 辺りはすっかり暗くなって、人間ならみな家に帰っているような時間だから。

イ 人々が生活するような場所から遠くはなれていて、人間が通るはずがないから。

ウ 道のはばがととてもせまくて、人間が通れるような所ではないから。

(5) 筆者が見つけた、森のおくへと続く道は、①だれが通った道でしたか。二字で答えましょう。②また、何によってそのことが分かったのですか。(3枚目)

①

② ()



森の中の場面 3枚目23行目～5枚目7行目

森の中を歩くうちに、筆者の気持ちがだんだんと変化していきます。

(6) 木々やコケ、そして岩や倒木^{とうぼく}までが、たがいにからみながら助け合って生きている森の様子を、たとえを使って表現しています。その部分を書きぬきましょう。(3枚目)

森全体が ()

(7) 4枚目1行目「森の木々が、じつとぼくを見つめているような気がしました」とありますが、それは、どんな気持ちからだと考えられますか。

ア 森が自分をこばんでいるように思う気持ち。

イ 森が自分を守ってくれていると思う気持ち。

ウ 森が自分を受け入れてくれたと思う気持ち。



(8) 4 枚目 2 行目 「気味の悪い大木」とは、どんな木のですか。

（

）

(9) 4 枚目 6 行目 「だんだん不思議な気持ちになってきました。」とありますが、どんな気持ちになったのですか。

・自分が（ ）の目になって、森をながめているような気持ち。

(10) 4 枚目 10 行目 「もしクマが反対からやって来たら、そつと道をゆずってやればいいのだ。」と考え始めたことから、筆者がどんな気持ちになってきたことが分かりますか。

ア 森の中の動物にとって、自分は敵なのだから、おとなしくしてしようという気持ち。

イ 森のこわさがなくなって、自分も森の自然の一員になったような気持ちになってきた。

ウ 気味の悪いものがある森の中で、クマだけは自分の味方だという気持ちになってきた。

(11) クマの古いふんからのびた白いキノコや古い動物の骨の周りにさく花から、どんな自然の仕組みがわかりますか。（4 枚目）

（

）ということ。

(12) 5 枚目 4 行目 「倒木の道」で、筆者は何を見つけましたか。また、それからどんなことが分かりましたか。

見つけたもの（

）

分かったこと（

）

(13) 倒木の上を歩いている筆者は、どんな気持ちでいますか。

（ ）になったような気持ち。

（5 枚目）



川でサケに出会う場面 5枚目8行目～6枚目5行目

産卵^{らん}のために川を上るサケの大群に出会います。

(14) 筆者が川底の色だと思ったものはなんでしたか。(5枚目)
()

(15) 産卵のために川を上るサケの力強さを表わしている表現があります。(5枚目)
()に合う言葉を書きましょう。(5枚目)
・ ()のように身を大きく曲げながら、()のように、
ぼくの手から()のです。

(16) 川にクマがいるのに気づいた筆者は、この森の川をどんな世界だ
と思いましたか。(5枚目)

の世界

(17) アラスカの森に生きる人たちの古いことわざに、「サケが森を作る。
る。」という言葉があります。なぜ、「サケが森を作る」と言える
のですか。()に合う言葉を書きましょう。(6枚目)
・ 産卵を終えて死んだ()が、上流()へと流さ
れながら、森の自然に()をあたえてゆくから。



再び森の中に入ってゆく場面 6枚目6行目～6枚目28行目

再び森の中に入ると、「気味の悪い大木」の正体が分かります。

(18) 再び森の中に入ってゆくと、「不思議な光景」に出会います。

(6枚目7行目)それはどんな光景ですか。

ア 対岸の岩の上から、クロクマの親子が、じっとこちらを見ている光景。

イ 産卵らんを終えて死んだ無数のサケが、上流から下流へと流されていく光景。

ウ 地面に横たわる古い倒木とうぼくの上から、巨木が一行にならんでのびている光景。

(19) 森の中で見かけた、根が足のように生えた不思議な姿の木がどのようなにできたのかを想像して、筆者は「物語」にしています。「物語」の部分の初めと終わりの六字を書きましょう。(6枚目)

(20) 倒木にすわり、幹をなでる筆者に、森はどのよう感じられましたか。(6枚目)

・じつと見つめ、()ば、森はさまざまな()を聞かせてくれるように感じられた。



場面ごとに区切って、詳しく読み取りましょう。

答え付き

カヤックに乗っている場面 1枚目2行目〜2枚目22行目

筆者がカヤックに乗って、原生林に近づいていく場面です。

(1) 次の（ ）に合う言葉を入れて、筆者が今いる場所の様子を答えましょう。

朝の海は、（深いきり）に包まれ、静まりかえっている。聞こえるのは、（カヤック）のオールが、水を切る音だけ。少し（風）が出てきて、きりがゆつくりと動いている。きりの切れ間から、辺りを取り巻く山や（森）が、ぼんやり見えてくる。

(2) カヤックの上でじっとしていると、いろいろな音が聞こえてきます。次の音は、なんの音ですか。合うものを下からえらびましょう。

- ① ピロロロロ (ウ)
- ② ポチャン (ア)
- ③ シューツ、シューツ、 (イ)
- シューツ

ア サケが飛び上がる音。
イ ザトウクジラが潮を
ふく音。
ウ ハクトウワシのさえ
ずり。

森の中へ入ろうとする場面 3枚目1行目〜3枚目22行目

森の近くで、だれかが通ったような道を見つけるよ。

(3) 3枚目3行目「ぼくがこの森に入ることとをこぼんでいるよ」
うでした。」とありますが、何が、筆者をこぼんでいるように見えるのですか。二つ書きましょう。

(見上げるような巨木。)

(びっしりとおいしげる樹木。)



(4) 3枚目6行目「いったいだれが来たのだろう。」と筆者が思ったのはなぜですか。

ア 辺りはすっかり暗くなって、人間ならみな家に帰っているような時間だから。

イ 人々が生活するような場所から遠くはなれていて、人間が通るはずがないから。

ウ 道のはばがととてもせまくて、人間が通れるような所ではないから。

(5) 筆者が見つけた、森のおくへと続く道は、①だれが通った道でしたか。二字で答えましょう。②また、何によってそのことが分かったのですか。(3枚目)

①

ク
マ

② (土の上に残されていた大きな足あと)



森の中の場面 3枚目23行目～5枚目7行目

森の中を歩くうちに、筆者の気持ちがだんだんと変化していきます。

(6) 木々やコケ、そして岩や倒木^{とうぼく}までが、たがいにからみながら助け合って生きている森の様子を、たとえを使って表現しています。その部分を書きぬきましょう。(3枚目)

森全体が (一つの生き物のように呼吸している)

(7) 4枚目1行目「森の木々が、じつとぼくを見つめているような気がしました」とありますが、それは、どんな気持ちからだと考えられますか。

ア 森が自分をこばんでいるように思う気持ち。

イ 森が自分を守ってくれていると思う気持ち。

ウ 森が自分を受け入れてくれたと思う気持ち。



(8) 4枚目2行目「気味の悪い大木」とは、どんな木なのか。
(まるで、足で立っているように根が生え、その間に大きな穴が空いている木。)

(9) 4枚目6行目「だんだん不思議な気持ちになってきました。」とありますが、どんな気持ちになったのですか。

・自分が(クマ)の目になって、森をながめているような気持ち。

(10) 4枚目10行目「もしクマが反対からやって来たら、そつと道をゆずってやればいいのだ。」と考え始めたことから、筆者がどんな気持ちになってきたことが分かりますか。

ア 森の中の動物にとって、自分は敵なのだから、おとなしくしてしようという気持ち。

イ 森のこわさがなくなって、自分も森の自然の一員になったような気持ちになってきた。

ウ 気味の悪いものがある森の中で、クマだけは自分の味方だという気持ちになってきた。

(11) クマの古いふんからのびた白いキノコや古い動物の骨の周りにさく花から、どんな自然の仕組みがわかりますか。(4枚目)

(わずかな栄養もむだにはならない)ということ。

(12) 5枚目4行目「倒木の道」で、筆者は何を見つけましたか。また、それからどんなことが分かりましたか。

見つけたもの(アカリスがトウヒの実を食べたから。)
分かったこと(動物たちがこの自然の道を利用していているという事)

(13) 倒木の上を歩いている筆者は、どんな気持ちでいますか。

(森のリス)になったような気持ち。

(5枚目)



川でサケに出会う場面 5枚目8行目～6枚目5行目

産卵^{らん}のために川を上るサケの大群に出会います。

- (14) 筆者が川底の色だと思ったものはなんでしたか。(5枚目)
(サケの大群)

- (15) 産卵のために川を上るサケの力強さを表わしている表現があります。(5枚目)
す。()に合う言葉を書きましょう。(5枚目)
・(ばね)のように身を大きく曲げながら、(はじける)ように、
ぼくの手から(飛びぬけてゆく)のです。

- (16) 川にクマがいるのに気づいた筆者は、この森の川をどんな世界だ
と思いましたか。(5枚目)

サ	ケ	を	食	べ	に	来	る	ク	マ
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

の世界

- (17) アラスカの森に生きる人たちの古いことわざに、「サケが森を作る。
る。」という言葉があります。なぜ、「サケが森を作る」と言える
のですか。()に合う言葉を書きましょう。(6枚目)
・産卵を終えて死んだ(無数のサケ)が、上流(下流)へと流さ
れながら、森の自然に(栄養)をあたえてゆくから。



再び森の中に入ってゆく場面 6枚目6行目～6枚目28行目

再び森の中に入ると、「気味の悪い大木」の正体が分かります。

(18) 再び森の中に入ってゆくと、「不思議な光景」に出会います。

(6枚目7行目)それはどんな光景ですか。

ア 対岸の岩の上から、クロクマの親子が、じっとこちらを見ている光景。

イ 産卵を終えて死んだ無数のサケが、上流から下流へと流されていく光景。

ウ 地面に横たわる古い倒木の上から、巨木が1列にならんでのびている光景。

(19) 森の中で見かけた、根が足のように生えた不思議な姿の木がどのようにできたのかを想像して、筆者は「物語」にしています。「物語」の部分の初めと終わりの六字を書きましょう。(6枚目)

昔
、
一
本
の
ト

、

て
た
の
で
す
。

(20) 倒木にすわり、幹をなでる筆者に、森はどのように感じられましたか。(6枚目)

・じつと見つめ、(耳をすませ)ば、森はさまざまな(物語)を聞かせてくれるように感じられた。



宿題

次回の授業までにやる勉強です。

必ずやりましょう。

1. 漢字

漢字テストの復習をしましょう。特に、できなかったりまちがったりした漢字を中心に練習しましょう。

2. 音読

「森へ」を読みましょう。

3. 新聞記事を要約しましょう。

次のページに新聞記事「アイヌ民族 独自の文化」があります。

アイヌ民族 独自の文化



北海道には、古くから先住民「アイヌ」が暮らしていましたが、アイヌは本州の「和人」とは異なる文化や言語を持つ民族です。

本州では縄文時代が終わり、弥生時代（紀元前4世紀〜3世紀）に入ると稲作が始まりました。でも、寒い北海道で稲作は行われず、野山で狩り

言語、風習…禁止された時代も

をしたり、川で魚を取ったりする縄文文化が続きました。この「続縄文文化」を元に、12〜13世紀ごろに独自のアイヌ文化が成立したと考えられています。

アイヌと和人は交流しながら生活していましたが、江戸時代ごろから衝突が増えていきます。明治時代になると、政府の「同化政策」（日本人全員を和人の文化・習慣に統一する政策）によってアイヌの文化や風習は禁止され、伝統的な生活もできなくなりました。

「アイヌは先住民族だ」というアイヌの訴えが実を結んだのは2019年のことです。この年の5月、アイヌを「先住民族」と明記したアイヌ施策推進法（時事ワード6ページ）という法律が施行されました。



JPN Class

Online school - 日本語で学ぼう

国語の学習

小学校

六年生

年間学習表



8月 (夏休み=授業は3回)	7月 (夏休み=授業は3回)	6月	5月	4月		
		<p>討論会のをしよう 討論会の流れと進め 方を学習しよう。</p>			<p>1年間の学習を通し て 先生の話を聞き、学 習を進めよう。</p>	話す／聞く
<p>本は友達 自分の好きな本を紹 介しよう。</p>	<p>森へ 「森へ」を読んで、 どんなことを考えた か、テーマを決めて 書こう。</p>	<p>ガイドブックを作る 読み手に必要な情報、 自分が伝えたいこと をふまえて、文章を 書こう。</p>	<p>生き物はつながりの 中に 文章全体を短くまと めよう。(要約しよ う。)</p>	<p>カレライイス 主人公と似た経験に ついて書こう。</p>	<p>新聞記事 記事の要約をし、記 事に対する自分の意 見を書こう。</p>	書く
<p>船りんご 詩の言葉に現れた筆 者の気持ちを読み取 ろう。</p>	<p>森へ 情景を想像しながら 読んで、森のイメー ジを豊かに伝える効 果的な表現を味わお う。</p>	<p>短歌・俳句の世界 短歌や俳句を読んで、 リズムや言葉の美し さを感じよう。</p>	<p>生き物はつながりの 中に 筆者が文章を通して 一番言いたいことは 何か考えよう。</p>	<p>カレライイス 主人公の気持ちを考 え、自分と重ね合わ せて読んでみよう。</p>	<p>新聞記事 記事の内容を読み取 ろう。</p>	読む
<p>同じ訓を持つ漢字 同じ訓を持つ漢字そ れぞれの意味と使い 方を知ろう。</p>			<p>暮らしの中の言葉 ことわざや漢字四字 の言葉の、意味や使 い方を理解しよう。</p>	<p>漢字の形と音・意味 漢字の音を表す部分、 意味を表す部分を知 り、漢字の組み立て を理解しよう。</p>	言葉	

1月 (冬休み=授業は3回)	12月 (冬休み=授業は3回)	11月	10月	9月	
今、わたしは、ぼくは 自分の思いが伝わる ような表現を身に付 けよう。	自分の考えを発信し よう 自分の考えをイン ターネットを使って、 友だちに発信しよう。			みんなで生きる町 調べたことや考えた ことを分かりやすく 伝えよう。	話す／聞く
感動を言葉に 見たり感じたりした ことをもとに、心の つぶやきを言葉にし よう。	今、わたしは、ぼく は 構成を工夫して、意 図が明確に伝わる方 法を考えよう。	自分の考えを発信し よう 「平和」に関する資 料を通じて、自分の 考えを書こう。	イートハーヴの夢 宮沢賢治の考えにつ いて分かったこと、 思ったことを書こう。	みんなで生きる町 調べたことをもとに、 提案書を作ろう。	書く
	平和のとりでを築く 文の書き方の特徴に 気をつけて、筆者の 考えを読み取ろう。	イートハーヴの夢 宮沢賢治の考え方や 生き方を読み取ろう。	やまなし 独特な言葉や表現を 味わおう。情景を想 像しながら読んで、 作品の特徴を考えよ う。	みんなで生きる町 だれもが暮らしやす くするにはどうした らいいか考えよう。	読む
漢字クイズ 小学校で習った漢字 を、正しく理解して いるか確かめよう。	インターネットと学 習 インターネットを学 習に役立てるために、 注意することを確か めよう。	覚えておきたい言葉 教科や社会生活の中 で使われる言葉の意 味を理解しよう。	熟語の成り立ち 漢字二字・三字・四 字以上の熟語につい て理解を深めよう。	日本で使う文字 平仮名と片仮名の由 来を知ろう。ローマ 字とのかかわりを知 ろう。	言葉

	3月	2月	
			話す／聞く
	<p>今、君たちに伝えたいこと 筆者が伝えたいことをまとめ、俺に対する自分の考えを書こう。</p> <p>生きる 「生きる」の形をまねて、詩を創ってみよう。</p>	<p>わたしたちの言葉 いろいろなあいさつについてまとめてみよう。</p>	書く
	<p>今、君たちに伝えたいこと 筆者が経験をとおして子どもたちにつたえたいメッセージを読み取ろう。</p> <p>生きる それぞれの連に注意しながら、作者の考える「生きる」を読み取ろう。</p>	<p>海の命 周りの人々とのかわりの中で成長していく主人公の姿を読み取ろう。登場人物の言動から生き方や考え方を読み取ろう。</p> <p>言葉の橋 詩を味わい、心を伝える言葉の働きについて筆者の考えを読みとろう。</p>	読む
<p>六年生の漢字 六年生で習った漢字の復習をしよう。</p>			言葉



JPN Class

Online school – 日本語で学ぼう

国語の学習

小学校六年生

七月 第②週

「いいね」

「チャンネル登録」

してください！

また来週。

